

耐えろ つまようじタワー



崩れそうなタワーを見守る高校生たち＝熊本市西区

高校生が製作 強度競う 崇城大

高校生がつまようじと接着剤で作ったタワーの強度を競う恒例の「耐震コンテスト」が21日、熊本市西区

の崇城大で始まった。県内の14校37ペアが出場した普通学科部門は、8kgの荷重に耐えるタワーを唯一作った大津高3年の烏丸柊耶さん、牧智也さんペアが優勝した。

タワーの条件は30センチ四方の台座に高さ50センチ以上で組み上げ、板状の重りを載せる場所を2カ所設ける。2種類の揺れと、1センチ刻みで増える重りにどこまで耐えられるか競った。

タワーが「ミンミン」としなり、限界に達して豪快に崩れるたび、会場から「あー」と悔しがれる声が上がった。

優勝ペアは出場3年目で初の栄冠。烏丸さんは「三角形が集まった『トラス構造』にこだわりの、重心を意識した。最後の年に勝てて本当にうれしい」と満面の笑みだった。

コンテストは、ものづくりと建物の耐震に関心を持ってもらおうと崇城大が開き12回目。22日は県内外11校31ペアが参加する建築系学科部門が開かれる。

(植木泰士)